

|             |   |
|-------------|---|
| Title       | 月火口アリスチレスAristillesの二重運河に就て   |
| Author(s)   | 中村, 要   |
| Citation    | 天界 = The heavens (1925), 5(50): 81-82   |
| Issue Date  | 1925-02-25  |
| URL         | <a href="http://hdl.handle.net/2433/160213">http://hdl.handle.net/2433/160213</a> |
| Right       |   |
| Type        | Departmental Bulletin Paper   |
| Textversion | publisher   |

蛇の足をもつた男の子であつた。ミネルバは哀れと思ひ、その子をひき取つて、彼女の愛する街アテネの王にしてやつた彼は己の足の不具なるを恥ぢ、人に見られぬ爲に、四輪の幌馬車を發明して、乗つてあるいた。今日の馬車の起源はこの時である。

トロヤの戦の時ブルカーヌスは母親の命によつて河の神スカマンダーと試合したことがあつた。河神はその澎湃たる水勢を以つて立ち向ひ、ブルカーヌスは滔々たる烈火を以つてこれに應じた。この試合に於ては火の勢つよくして附近の森は焼け、水は蒸發し、魚は死して遂に河の神はブルカーヌスに降参した。

ブルカーヌスも相當に威力を發揮してゐたものと見へる。

(續)

(註) 希臘人が希臘神の生れると言ふ事に對する考へは非常に複雑であつて作る言ふ事(Erzuehung)を生む言ふ事(Gebhen)とは別物の如く考へてゐる。例へばミネルバ女神はジュピターと母親メテオスの二人で作つたのであるが生まれたのはジュピターの頭からである。

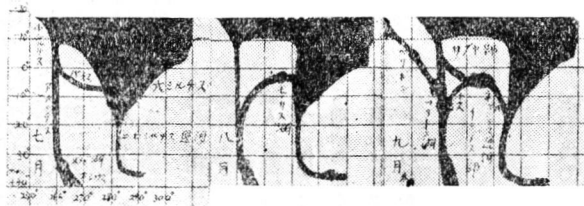
## 月火口アリスチレス Aristiles の二重運河に就て

中村 要

月面の有名な山脈であるアペナイン及びアルプス山脈に圍まれた平原に行儀よく列んだアルキメデス、オートリクス、アリスチレスの三火口がある其の最小のものがアリスチレスで其の西北に火口壁を横ぎつて小望遠鏡で線が見える。

精細なる火星表面の研究に非常に靜かな空氣の状態である事はよく知られて居るが運河に關して大口徑及び小口徑の實效力についてしばしば論争された。運河が大口徑よりも小口徑で見える事に關し此のアリスチレスの運河は優に小口徑の運河の有力なる事を示す。(月の運河は月面にある直線狀の模様名稱)

圖に示せる如く火口壁を横ぎつて居るが頂點より外部の二本はリツク天文臺の二重星専門家エイクン氏が三十六時に注意したものであるが此の報知がジャマイカのピケリングの許にミッキークラーク十一時で觀測の結果外部の二本を容易に認めたるのみならず内壁のものも二本なる事を發見したので



河運重二のスレチスリア口火月

ある。更に此れは同氏の報知によりローエル天文臺のローエル、スラファア等に充分證明され又佛の火星専門家 Jarry Das 氏によりて承認された。

しかるにエイケン氏は一箇年三十六時の大口徑を利してしばしば注意せるが遂に二本ミ見る事を得なかつた。ヤーキスの四十時バーナード氏も見ることを得なかつた。他の大口徑も總て失敗した。しかれば火星運河の如きものかと言へばそうではなく近年に到つてウイルソン山百時によりヘール氏により容易に認められたので誤でない事が分かった。又一九二二年に到つて伊の火星觀測家マチニ氏が五時及び九時半にて觀測した。それで此れを見得た地は世界中で僅か五箇所しかない事になる。

十時で容易に見えるものが世界有数の望遠鏡にても見えな  
い。たゞ一言にて説明し得る。即ち空が悪い言葉をかへて見れば火星の運河を見るだけのシーイングが無い。此の二重を

見る事は火星の運河の九十パーセントを見る事より易い。十パーセントの運河は此の二重ミ同等の見難さである。此の事實があれば二重運河を見得づして火星運河を認むる能はざるもの當然である。大口徑いへども火星運河を論ずる權利は無い。

更に又火星の二重運河は月二重より困難である。即ち月火口アリスチレスの二重を見得ざる人が火星の二重に關し主張する權利はない。

ウイルソン山百時にて認めたる事はウイルソン山の良好なるシーイングを證するに足る。百時六十時の美事な成績も當然である。

以上の五箇所に京都を加へ得たるのを喜ぶ。京都にては二重が見える日には六十パーセントの夜まで七時に二重を認める事が出来る。シーイング八では困難九では容易である。しかし其の本體は未だ分つて居ない。月面上數百呎を離れた模様である。破れ目であるとは考へそうな事であるが月の一日を通じて觀察すれば此の二重が分離したり又一本になつたり又太きにしても附近の模様ミ關聯して随分かはる。破れ目とは考えられない。三時にても外壁の二本は認める事が出来る。内壁の二重の線の距離は僅かに〇・七秒であつて如何に困難か知れよう。